

タクシー・ブルース (1990)

TAXI BLUES
TAKSI-BLYUZ

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 ソ連／フランス

色彩 Color

時間 110分

初公開日 1991/01/19

公開情報 K U Z U I = ブランディローズ

【キャッチコピー】

モスクワが友情を語りはじめた。

【解説】

ペレストロイカ以前とは全く作風が変わったソ連映画。タクシー運転手のシュリコフは、乗せた若者に金がないので取ってくると言われて待っていたが、待てど暮らせど彼は帰ってこなかった。騙されたと知った彼は、その若者を捜し出す。若者はサックス奏者のリョーシャといい、今は金がないから待ってくれという。怒った彼はリョーシャのサックスを取り上げてしまう……。シュリコフは、労働は価値あるものだというモスクワの代表的思想の持ち主で、リョーシャの様な自堕落なミュージシャンを嫌っていて、リョーシャは自由奔放に生きる“西側”の思想の持ち主という相対するキャラクターとして設定されており、まさにペレストロイカについての物語として見て取れる。しかし映画はただ単にそういった図式性だけに陥ることなく、非常にユニークな男同士の人間ドラマとしてもきちんと描いている。

【クレジット】

監督	パーヴェル・ルンギン	Pavel Lungin
製作	マラン・カルミツ	Marin Karmitz
製作総指揮	ピエール・リヴァル	
脚本	パーヴェル・ルンギン	Pavel Lungin
撮影	デニス・エフスチグニエーエフ	
音楽	ウラジミール・チェカシン	
出演	ピョートル・マモノフ	
	ピョートル・ザイチェンコ	
	ウラジミール・カシュプル	
	エレナ・サフォノヴァ	Elena Safonova
	セルゲイ・ガザロフ	Sergei Gazarov